

# 精神保健福祉

みやまき



57

宮崎県精神保健福祉連絡協議会

2017

## 表紙説明

「ジャカランダ」

(日南市 提供)

## 「青いTシャツ」 に込められた願い

この青いTシャツ（愛称：青T）には、  
人知れずいつもたった一人ぼっちで悩み続ける方に向けて、  
隣にいる誰でもかまわないから 何時でもかまわないから 少しだけでもかまわないから  
**「ひとりで悩まないで 誰かに話してみませんか」**  
というメッセージが込められています。

## 自殺と自死

宮崎県精神保健福祉連絡協議会  
会長 高 宮 眞 樹

平成28年の宮崎県の自殺者数は205人であった。平成9年以降15年連続で300人を超えていたが、平成19年の394人をピークに減少を続け、全県あげての自殺対策が奏効して平成24年に277人と300人を下回り、その後も更なる減少が望まれたものの平成25年 256人、平成26年 265人、平成27年 255人と減少傾向も若干鈍り気味であったところに、平成28年は205人と減少したことは関係者各位の更なる努力のたまものと感謝したい。ただし、自殺死亡率は全国でワースト11位ということで、もちろん前年の3位に比べると良いものの、全国平均を上回る状況にあり、全国でも自殺死亡率の高い県であることに変わりはない。本県あげての対策も効をあげているが他県はそれ以上に各種施策をとっているのであろう。何が違うのか？何かが足りないのか？

先日、他県の精神科医療関係者から、次のような指摘をいただいた。

「宮崎県では24時間365日の電話相談体制がないらしいですね。また、いのちの電話これと同程度の活動をしている団体がないのは、全国で、富山、福井と宮崎だけみたいですね。ある団体がやっているフリーダイヤルの電話相談に宮崎発信のも結構多いようですよ。」

小生はうかつなことに電話相談窓口についての知識がなかった。そこで確認したところ、宮崎県では、2つの団体が夜間の3～4時間を担っていて、平日の日中は精神保健福祉センター等が担当していた。しかも、行政のパンフレット（こころの電話帳）をみると他県の電話相談窓口の番号が並記されていた。もちろん電話相談のみで解決する訳でもなく、電話相談の9割は自殺とは関係のない相談といわれている。電話相談を担当している方々の苦労は大変なものであることもわかっている。ただ、他県にあって宮崎にないものをやることは全国でも自殺死亡率の高い本県にとっては必要なことではないか。ひとつひとつ確認しておくことは大事であろう。そのようなことから、宮崎県精神保健福祉連絡協議会として県に対して24時間365日の電話相談体制の充実をお願いしたところである。

さて、そろそろ“自殺”の呼称を見直して“自死”にかえてもいいのではないか。“自殺”は“他殺”の対語である。「他人を殺す他殺」の対語の「自分を殺す自殺」である。“殺す”というのは反社会的行為というニュアンスがあり罪悪感がぬぐえない。一方で“自死遺族”はひろく使われている。鳥根県では10年前より行政が率先して“自死”に変更しており、その後追随する県も出てきている。“自死”の多い宮崎県だからこそ、呼称見直しをしてもいいと思うが皆様はいかがお考えか。



# 目 次

巻 頭 言 自殺と自死 宮崎県精神保健福祉連絡協議会 会長 高宮 眞樹	1
第56回 宮崎県精神保健福祉大会（平成28年度開催） 「理解し合い つながり合い 共に生きる地域づくり」	4
精神保健福祉事業功労者（平成28年度） 宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰（個人8名、1団体）	5
表彰受賞者の声（平成28年度）	
宮崎県精神福祉連合会	長友 次彦（宮崎市） 8
宮崎県断酒友の会都城支部	永田 真志（都城市） 9
たかはるハートム	谷山 天一（高原町） 10
就労移行支援事業所ぐらんま亭	中武 功見（高鍋町） 11
精神科デイケア講師	男澤 智保子（日向市） 12
精神科デイケア講師	坂元 圭子（門川町） 13
傾聴ボランティア	椎葉村聴きミミ隊（椎葉村） 14
書道・語り部ボランティア	安藤 チカ子（延岡市） 15
第16回宮崎県障がい者スポーツ大会の結果について	16
第16回宮崎県障がい者スポーツ大会に参加して	
谷口病院 オーシャンズ	17
社会福祉法人 風の道	18
都農町いちょう会デイケア	19
就労継続支援B型事業所フラワーパークのぞみ工房	20
各地域精神保健福祉協議会の動き	
宮崎地域精神保健福祉協議会	21
日南串間地域精神保健福祉協議会	22
都城北諸地域精神保健福祉協議会	23
西諸地域精神保健福祉協議会	24
西都児湯地域精神保健福祉協議会	25
日向入郷地域精神保健福祉協議会	26

延岡地域精神保健福祉協議会	27
西臼杵地域精神保健福祉協議会	28

### 精神障がい者支援組織・グループの動き

特定非営利活動法人宮崎県精神福祉連合会	29
宮崎県断酒友の会	30

### 障がい者の就労促進等に取り組む事業所

特定非営利活動法人 工房はずき	(就労継続支援B型事業所)	31
とんでーの	(地域活動支援センター I 型事業所)	32
特定非営利活動法人 すまいる	(就労継続支援B型事業所)	33
特定非営利活動法人彩り にじいろ	(就労継続支援A型・B型多機能事業所)	34

### 宮崎県精神保健福祉連絡協議会だより

平成28年度事業実績	35
平成29年度事業計画	36
宮崎県精神保健福祉連絡協議会 役員名簿	38
宮崎県精神保健福祉連絡協議会 会員名簿	39

# 第56回 宮崎県精神保健福祉大会

テーマ：「理解し合い つながり合い 共に生きる地域づくり」

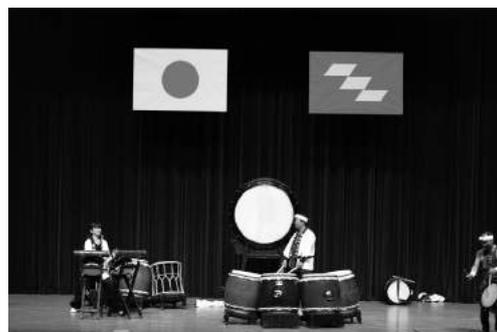
1 開催日時 平成28年10月14日（金）12：20～15：40

2 場 所 日向市文化交流センター

3 参加人数 674名

4 大会内容

(1) アトラクション 日向十五夜太鼓



(2) 式典（表彰）

宮崎県知事表彰	8名
宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰	8名 1団体
宮崎県精神科病院協会会長表彰	13名

(3) 特別講演

演 題 「家族・当事者・精神科医の三つの立場を体験した私からお伝えしたいこと  
～人が回復するのに、締め切りはありません～」

講 師 やきつべの径診療所医師 夏莉郁子氏

(4) 体験発表

「支えてくれている人達への感謝」 下元結衣氏（日向市）

「寄り添いながら、共に生きる」 石田あや氏（日向市）

(5) ディスカッション

夏莉郁子氏、下元結衣氏、石田あや氏

(6) 展示・販売コーナー



## 宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰（平成28年度）

氏 名	住 所	所属・職名(職種)	功 績 概 要
ながとも 長友	つぎひこ 次彦	宮崎県精神 福祉連合会 理事  清武町 精神福祉会 代表	<p>平成17年から現在に至るまで、清武町家族会の代表として、精神障がい者の正しい理解や知識の普及啓発活動に取り組んでいる。</p> <p>また、宮崎県精神福祉連合会理事として、精神障がい者に対する差別・偏見・風評被害事例調査を行うなど、「障がいのある人もない人も共に暮らしやすい宮崎県づくり条例」案作成に携わった。</p> <p>更に、県内の家族会の育成や、精神障がいに関する電話相談事業への取組みを通して、精神障がい者とその家族が安心して生活できる社会づくりに尽力している。</p>
ながた 永田	しんじ 真志	宮崎県 断酒友の会 都城支部 会計	<p>平成19年に宮崎県断酒友の会に入会以来、アルコール問題を抱えている人を一人でも多く救いたいという思いから、当事者やその家族の相談に応じ、自宅訪問や専門病院への橋渡しを行っている。</p> <p>また、退院者に対しては、専門病院と連携をとり、継続した支援に携わっている。</p> <p>更に、各種大会や研修会、講演会で精力的に自らの体験に基づいた講演や発表を行い、依存症とその回復についての理解の拡大に貢献している。</p> <p>平成24年度からは断酒友の会都城支部長を務めるとともに、県断酒友の会の事務局の運営を担当し、相談対応や各支部との調整、広報誌による情報発信に携わっている。</p>
たにやま 谷山	ひろかず 天一	たかはる ハートム 代表	<p>平成20年に開催された「みんなのまちをみんなで作ろうフォーラム in 西諸」に参加し、住みやすい生きやすい地域を作ろうという声に賛同し、人と人のつながりを生み出そうと、一日30人に声をかける運動を開始した。</p> <p>平成22年に特定非営利活動法人たかはるハートムを設立し、「お茶一杯で救える命がある」との信念で、高原町内に高齢者が安心して集える「茶飲み場」を開設し、定着に尽力した。現在も各会場を巡回して、運営の側面的支援を行っている。</p> <p>また、行政・民間・地域の様々な機関と連携しながら、自殺防止フォーラムや「茶飲み場」講演会を開催するなど、啓発活動にも尽力し、長年にわたり地域に根ざした自殺予防活動に貢献している。</p>

氏名	住所	所属・職名(職種)	功 績 概 要
ながたけ いさみ 中武 功見	高 鍋 町	就労移行 支援事業所 ぐらんま亭 施設長	<p>平成22年から不動産業の立場から宮崎市自立支援協議会の委員に就任。精神障がい者への賃貸物件の仲介を積極的に行うだけでなく、家主や他の不動産業者の精神障がい者への理解を促し、住宅確保を促進するための支援を行ってきた。</p> <p>その後、自ら、社会福祉士、精神保健福祉士の資格を取得し、平成24年に高鍋町内では初めてとなる就労移行支援事業所ぐらんま亭を設立。現在では、相談支援事業所や就労継続支援A型事業所等も設立し、支援の場を広げた。事業所では、ボランティアで神社等の清掃も行うなど、地域との交流の機会を持ちながら障がい者理解を深めるための地域活動も行っている。</p> <p>現在、精神障がい者の成年後見人や、賃貸物件入居時の保証人も引受ける等、公私にわたり、広く精神障がい者の地域生活を支援している。</p>
こまつ かよこ 小松香代子	宮 崎 市	精神保健福祉 ボランティア	<p>これまで高鍋保健所デイケアでレクリエーションボランティアとして活動した。</p> <p>平成20年7月より新富町精神障がい者福祉会ふたば会が実施する「地域にこにこ交流会」でボランティアとして活動し、NPO法人宮崎県精神福祉連合会の交流イベントや新富町内の福祉事業所のイベントなどにも積極的に協力している。</p> <p>精神障がい者と地域住民の交流促進を図る活動をしており、障がい者理解の促進や交流の場づくりに貢献している。</p>
おざわち ほこ 男澤智保子	日 向 市	書道塾講師  精神科 デイケア講師	<p>平成7年から現在まで、精神科病院デイケアにおいて書道講師として月1回の指導にあたっている。現在も「自分も勉強するつもりで活動している」と謙虚な姿勢で取り組み、親しみやすさを考えて硬筆の手本を準備する、状態に合わせて休憩を入れる、音楽をかけてリラックスした雰囲気づくりをするなど、デイケア利用者が活動しやすい支援を行っている。</p> <p>デイケア利用者からの感謝の言葉も寄せられ、医療機関スタッフからの信頼も厚い。</p> <p>長年にわたり、一人一人に寄り添った支援により、精神障がい者の生きがいがづくりに貢献している。</p>

氏名	住所	所属・職名(職種)	功 績 概 要
さかもと けいこ 坂元 圭子	門川町	精神科 デイケア講師	<p>平成13年から現在まで、精神科病院デイケアにおいて書道講師として月1回の指導にあっている。手本を準備してデイケアの時間に指導するだけでなく、自宅でもデイケア利用者の作品を選定し墨友(宮崎県書道協会の月刊競書誌)に出品することにより、昇級昇段試験が受けられるように支援するなど、熱心に取り組んでいる。</p> <p>デイケア利用者から「楽しみにしている」「教えて欲しい」などの声をかけられるほど信頼も厚い。活動は、精神障がい者の社会参加と生きがいのある生活づくりに貢献している。</p>
椎葉村 聴きミミ隊	椎葉村	傾聴 ボランティア	<p>椎葉村で実施された傾聴ボランティア養成講座修了者のうち、活動意欲のある4名で、平成25年1月に傾聴ボランティア「椎葉村聴きミミ隊」が結成された。同年2月から、椎葉村内の全家庭を目標にした家庭訪問、椎葉村デイケア「なごみの会」への参加、「家族の集い」への参加など、村民にとって気軽に話せる存在として活動している。</p> <p>また、傾聴講座の受講や活動報告会の実施により自己研鑽や情報共有などを行うとともに、椎葉村主催の精神保健福祉連絡会や自殺予防推進協議会へ参加することにより、村行政の推進に寄与している。</p>
あんどう ちかこ 安藤チカ子	延岡市	書道 ボランティア  語り部 ボランティア	<p>平成23年から「地域活動支援センターみなと」において書道ボランティアとして活動している。</p> <p>「利用者が楽しい時間を過ごせるように」との思いから、書きたい文字を自由に表現できるように工夫し指導している。できあがった作品は、展示することにより、お互いの気持ちの理解に役立っている。</p> <p>また、指導する傍ら看護師としてのスキルを活かし、利用者の思いを傾聴する等、熱心に支援しており、利用者や家族のみならず関係者からの信頼も厚い。</p> <p>書道ボランティアに加え、語り部ボランティアとして、利用者が楽しめるサロン活動にも取り組んでおり、「地域活動支援センターみなと」には、なくてはならない存在となっている。</p>

## 受賞者の声

特定非営利活動法人 宮崎県精神福祉連合会 長友 次彦（宮崎市）

この度は、第56回宮崎県精神保健福祉大会において、宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰をいただき光栄に存じます。厚く御礼申し上げます。

私が、精神障がい者家族会に入会し活動を始めたのは、息子が統合失調症を発症（平成8年）してから6年が経過してからでした。それまでは、「孤立無援」それに「病気についての無知」も加わり、良い病院、良い医師に巡り合えば完治するものと思ひ込み、「評判の良い病院」探しに奔走していました。その頃は、精神障がい者への差別偏見も根強く地域社会から孤立し、苦しい、辛い思いを秘めながら暮らしていました。そんな中、当時の清武町役場福祉課の保健師さんより、精神障がい者を抱えている家族の集いがあることを知らされ入会しました。

当時の精神障がい者とその家族を取り巻く環境は劣悪で、当事者の日中の居場所や福祉作業所は非常に少なく、収入を得ることは極めて困難でした。日中の居場所づくり、同じ悩みを持つ家族間及び当事者間の交流の場として家族会の存在は、大変有効でした。毎月の定例会参加者も多く、会員が作製した商品や町内の農家から仕入れたみかんを、福祉まつり会場等で販売し、売り上げ利益金は精神障がい者の労賃に当てていましたので、福祉作業所的な役割も担っていたと思います。地域住民との交流の機会も少ない当時、福祉まつり会場が数少ない交流の場であり、来場者の方々に家族会活動の紹介や商品販売を行いながら精神障がい者への理解増進にも努めました。

また、宮崎県精神保健福祉大会が宮崎市で開催されたとき、大会企画作業に携わることになり、管内の福祉作業所や家族会の紹介の場を会場の一室に設けて広報活動を行いました。当時も、支援機関は今とは比較にならない程少なかったと記憶しています。

家族会に入会してから今日までの活動を振り返ると、「長期入院者の退院促進事業」や「県内のバス、タクシー乗車運賃割引制度の適用」、「精神障がいに関する電話相談事業」、「諸々の家族会研修会」、障害者差別禁止に関する「障がいのある人もない人も共に暮らしやすい宮崎県づくり条例草案」作り、「精神障がい者も他の障害者と同等の医療費助成制度適用」等、大変有意義な活動に参画させて頂きました。これらの活動が、精神障がいのある人もない人も共に暮らし易い共生社会づくりに、幾分か貢献できたのではと思っています。



## 受賞者の声

宮崎県断酒友の会 都城支部 永田 真志（都城市）

今回、第56回宮崎県精神保健福祉大会において、宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰をいただき、誠に感謝、お礼申し上げます。

私は、宮崎県断酒友の会、都城支部に入会して12年になります。

平成18年12月にアルコール依存症と診断され、大悟病院へ入院しました。そこから断酒会に繋がりました。世の中では、まだ、アルコール依存症への偏見があり、よく理解がなされていません。

私も辛いことがあり、酒を飲みながら、辛いことやストレスから逃げていました。そして、酒に頼り、飲酒することがコントロールできなくなり、アルコール依存症という病気になってしまいました。

この病気は、“一生治らない”ということを入院中に聞き、なかなか理解できませんでした。この12年間に再飲酒し、3回入院しました。恥ずかしいやら情けないやらの繰り返しでした。今でも一滴でも口にすると再発します。

この病気の怖さを、十分理解出来るようにはなりましたが、毎日が飲酒欲求との戦いと言っても過言ではありません。

断酒会に入会して12年、私はこの会で命を救われました。断酒会の例会、仲間との出会い、そして絆が私を救っていただいております。連続飲酒で信用も仕事も失ってしまい、家族、友人に迷惑をかけた自分が、断酒会で酒を断ち、少しずつ真っ当な人間になることができています。

これからも、病院と保健所、福祉協議会の関係者の方々の協力をいただき、宮崎県断酒友の会のスタッフとして、微力ではありますが、少しでも社会に恩返しできるよう、励んでいきたいと思っています。

私もそうでしたが、本人も苦しいです。一番苦しいのは、家族の方々です。私が体験したことが少しでも役に立てばと、日々思っています。

「宮崎県断酒友の会 都城支部」の一員として、地域に貢献できれば幸いと感じています。これからも社会のために尽くしていきたいとの思いです。

この賞は、今後私の人生の宝として、感謝の気持ちを忘れずに活動していきます。

ありがとうございました。



## 受賞者の声

特定非営利活動法人たかはるハートム代表 谷山 天一（高原町）

この度は、宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰をいただき、感謝申し上げます。

平成20年7月のとても暑い日でした。高原町の体育館において、西諸県郡の自殺者を少しでも減らしていこうと、フォーラムが開かれました。

その時以来の活動が、形を変えながらも、これまでずっと続いている状態です。

“自殺者を一人でも減らそう！”ということが活動の目的で、当初は「こころの相談室」という看板を掲げて活動していましたが、訪れる人が少なく、何よりその雰囲気がとても近寄りがたい状態でした。

一方、同じ活動をしていた小林市の団体が「お茶飲み場」というやり方で、とてもいい成果をあげていると聞き、私たちの団体も看板を替える形で「お茶飲み場」にして事業を進めていきました。すると、その雰囲気がとてもよく、来訪者が徐々に多くなり、開催場所もどんどん増えていきました。

現在では、町内15か所で実施され、毎月約300の方が訪れる場所となっています。また、同時平行で、「お茶飲み場」に、様々な事情で行くことができない人の所へお話を聞きに行く「お話し相手事業」も実施しています。こちらも好評で、月に累計200件の訪問を行っています。この「お茶飲み場」事業を始めてから、高齢者の自殺者数が大幅に減少しました。これは、「お茶飲み場」と「お話し相手事業」の利用者が主に高齢者であることが原因です。

「お茶飲み場」と「お話し相手事業」を本格的に始めて5年になります。この2つをここまで継続できているのは、そこに圧倒的な需要があるからだと考えています。“お茶を飲みながら話をする”というシンプルなことですが、地域の人が求めていたものは、こういうものでした。

今回の賞を励みに、これからも地道に頑張っていきたいと思えます。



## 受賞者の声

就労移行支援事業所ぐらんま亭・就労継続支援A型ぐらんま茶寮 統括施設長  
株式会社アーバンエチュード 代表取締役 中武 功見 (高鍋町)

この度は、日向の地で開催された第56回宮崎県精神保健福祉大会において、宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰を賜り、誠にありがとうございます。職員・利用者様とともに大変光栄なことと衷心より感謝申し上げます。

平成元年に小さな不動産会社として産声を上げた弊社でございますが、15年ほど前から精神障がい者を中心に、高齢者・ひとり親世帯・生活保護受給世帯・外国人・DV被害者等の要入居支援者の居住支援を行ってまいりました。これらの方々が地域で受け入れてもらう困難さを痛切に感じながら、「住まい」の支援を行う中、平成23年に宮崎市の自立支援協議会成人期暮らし部会家さがしプロジェクトの一員に加えていただき、連帯保証人のいない方等の支援ネットワークを図式化した「生活サポートシート」をプロジェクトで開発し、大きな成果を上げることができました。

この協議会で、当事者の方々やご家族等と話をする中で、「住まい」が解決した後に必要になるのが「しごと」であると話題になり、民間の私どもとしてご協力できるのが、30年近く培ってきた経済界とのパイプ役だと確信し、それまでは高鍋になかった就労移行支援事業所を平成24年10月に開所いたしました。事業所名はぐらんま亭とし、お弁当の製造販売と清掃業務という生産活動の場を通じ、現在までに20数名の利用者様を企業につなぐことができました。また、平成27年8月からは、古民家カフェを中心にした就労継続支援A型ぐらんま茶寮を開所し、就労形態の多様化を図りました。本年3月には高鍋町の目抜き通りでバイキングレストランを同じぐらんま茶寮で開店し、利用者様に様々な「しごと」のメニューを提供させていただいております。

このように弊社としては、民間企業の強みを生かした「住まい」と「しごと」の両輪で、精神障がい者をはじめ、生きづらさを抱えて地域で生活している皆様に、少しでもご満足をして頂けるよう、寄り添い一緒に歩んでいきたいと切に思っております。



## 受賞者の声

精神科デイケア講師 男澤 智保子（日向市）

「今日も熱心にお稽古をしていただきありがとうございました。」

鮫島病院デイケアの書道の時間終了後、自然にこの言葉が出ます。毎月1回のこの時間が私にとり、とても幸せで、いつしか20年が過ぎました。

ひたすら筆、鉛筆を動かすのではなく、半紙以外の大きさの紙にも挑戦して貰い、出来上がりを楽しんでいただく事をモットーにしております。

文字を書く事が好きで、書道塾を営む私が、宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長賞をいただき、幸なことと、鮫島病院デイケアに通われる皆様、スタッフの皆様には厚く御礼申し上げます。



## 受賞者の声

精神科デイケア講師 坂元 圭子（門川町）

この度、第56回宮崎県精神保健福祉大会において、思いがけない表彰を頂き深く感謝いたしております。誠にありがとうございました。

平成13年10月、当時、私は子育てをしながら書道教室を開いていました。田中病院に勤務されている知人からデイケアの書道教室講師の依頼があり、私にできることならと思いお受けした次第です。初回参加された方々は「久しぶりだ。小学校以来だ。墨の香りが懐かしい。」などと、わくわく心はずませ、好きな文字や言葉を書き続け、あっという間に時間は過ぎていきました。その後は、いつも参加される方、都合のつく時に書かれる方など様々ですが、興味を持たれる方が自由に書いたり見学できたりして参加しやすい状況がつくられていますので楽しむことができます。続けて参加されている方は、少しずつ意欲が高まり、書道誌に出品したいという方も数名いらっしゃって、継続につながればと思い毎月出品することにしました。名前の掲載を楽しみに実力をつけていっています。また、毎年11月に行われる文化祭（紅葉祭）には、全員の習字を展示して病院内外の皆さんに観賞して声をかけて頂き励みになっています。書道教室の開始時間から約1時間半、参加されている方の書いている姿は、まねできないほどの集中力で素晴らしいものがあります。

私は、平成17年から仕事を始めました。そのため、たまに指導できなくてご迷惑をおかけすることもあります。16年間続けてこられたのも職員の方々に支えられ、また書道教室に参加されている方々が毎月真剣に取り組み、向上心を持ち続けていらっしゃるからだと思います。書道を通して、参加者の皆さんの生き生きとした姿が見られることは、私の活力にもなっています。今後も皆さんに喜んで頂けるように精一杯指導していきたいと思っています。



## 受賞者の声

### 傾聴ボランティア 椎葉村聴きミミ隊

この度、第56回 宮崎県精神保健福祉大会において、宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰を頂き、深く感謝いたします。活動を始めてまだ日が浅いにも関わらず、この様な賞を頂き大変恐縮するとともに、今後の活動の励みになりました。

私たちは、平成24年度に椎葉村が開催した「傾聴ボランティア養成講座」を受講し、「聴きミミ隊」という名称で4人での活動を始めました。県内にもあまり類を見ない団体ということで、担当保健師と共に試行錯誤しながら活動をしてきました。現在は、隊員を増やし6人で活動しています。

私たちの活動の多くを占めているのが、家庭訪問による傾聴です。椎葉村内の全家庭を訪問することを目標にしています。

聴きミミ隊になって最初に感じたことは、家庭の中へ入り、話を聴くことの難しさでした。実際に活動を始めて、突然の訪問に嫌がられるのではないかと、本当に話をしてくださるだろうかと不安でした。住民から信頼をいただくまで、回数を重ね、心を開いてもらい会話することの大変さを知りました。人口3000人にも満たない小さい村にも、とてつもなく大きな悩みをもって生活をしている人が多いことには驚きました。自分の苦しみを他人に見せること、特に家庭のことを他人に話すことを恥と思っている人が多いことも、活動を通して知りました。

話を聴く時は相手の呼吸に合わせ、相手に寄り添い、同じ気持ちになることが大切で、言葉はいらぬ時もあると感じています。悩みがある人には「何かしてあげなければ」と思いがちですが、そばに寄り添って同じ景色を見るだけでも良いのではないかと、この活動を通して思うようになりました。

椎葉村は緑も空気も豊かな土地ですが、面積が広い分、同じ地区内であっても家どおしの距離が遠く、人口も減っていて独居世帯で孤独を感じている方も多くいらっしゃいます。一方、たくさんの家族に囲まれ幸せな家庭に見えても、その中で1人で孤独な思いをしている人もいます。単純に独居世帯の人は、私たちの目にも止まりやすいのですが、たくさんの家族に囲まれながらも孤独を感じている人を見つけるのはとても難しいです。そんな孤独を感じている人を笑顔にできるのも、人の力だと思います。家族に話してもわかってもらえない孤独感を発見し、寄り添うことで、笑顔を取り戻してもらいたいと思います。家族にもわかってもらえない孤独感を発見するのは難しいですが、たくさん家族がいるから大丈夫という思い込みを避け、その人が出している信号を受け止められるような体制が必要な気がします。椎葉村聴きミミ隊は、そんな孤独感を発見するという部分で大切な役割を担っているのかもしれない。

最近では出会った皆さんから元気をいただいたり、様々な話の中で生活の知恵をいただいたりしています。訪問先の方の話しに耳を傾け、気持ちを受け止めることを通して、話す言葉の背景にあるものを含めて、その人を把握できるようになってきていると思います。また、他の聴きミミ隊員、仲間がいることは大変心強いです。訪問し傾聴することは、時には孤独で重い活動になることもあります。また、解決しあげたいけれどできないもどかしさを感じる時もあります。そういう時は、一人で抱え込まずに、隊員同士で想いを打ち明け、意見交換したりすることで、一人の隊員の悩みを全ての隊員で共有することを大切にしています。

今後も椎葉村の全家庭を訪問することを目標に、住民の悩みや心配ごとを少しでも減らしてあげられる様な活動をしていきたいと思っています。



## 受賞者の声

書道ボランティア・語り部ボランティア  
安藤 チカ子 (延岡市)

この度は、第56回宮崎県精神保健福祉大会に於きまして、表彰をいただき、とてもうれしく、感動と感謝いっぱいです。誠にありがとうございました。

式典、講演、アトラクション、きれいな可愛い花束。あの日がなつかしく甦ります。

「みなと」に集う皆さんも共に喜んでくださり心に残る1日となりました。

思えば「みなと」開設の際、稚拙な書暦の私にお声をかけていただいた事がご縁でした。「みなと・みなと」＝「港・皆と」の思いに溢れる施設長をはじめ、職員の皆さんの温かい人柄に、訪れるたびに心地よく、溶け込ませていただいています。

「自由に、書を楽しむ」と提案させていただいた事に、快く賛同いただき、これまで続けられたと振り返ります。

書の時間を楽しまれる皆さんは、墨の薫りを感じると自然に、姿勢、呼吸、気持を整えられるようです。皆さんの発想はとても豊かで自然体です。

書の日を楽しみに何を書こうかと考えて来られたり、書いて表現するうちに連想が膨らんだり、季節感にあふれ、個性が輝いています。

書くことが気持ちの確認だったり、これからの目標を表現したり、楽しさ満点の愉快的絵画やマージャン用語もとっても面白い作品になります。

そして、幸せのお裾分けの詩句にもほっこり和らぎます。

また時々、いえ、いつも深いな～と思わされる言葉もたくさんあるのです。

それは体験があるからこそその説得力といえます。それゆえ会話も弾み、明るい笑顔がたえません。皆さんが「書の時間を楽しんでいただけている」ことが何より嬉しい励みです。私も、日々悩みや困難と向き合っています。

書のおかげで「みなと」は私にとっても「港・皆と」になっているのです。

身に余る表彰という大きなご褒美をいただけて胸いっぱいです。

萌ぎの会の民話語りも方言を楽しみに継続したいと切に思っています。

どうぞ宜しくお願い致します。本当にありがとうございました。

心からお礼申し上げます。



## 第16回宮崎県障がい者スポーツ大会報告

第16回宮崎県障がい者スポーツ大会は、県内各地より1,593名の選手が参加して開催されました。

障がい者スポーツの祭典であるこの大会は、スポーツを通じて障がい者相互の交流を図り、障がい者の社会参加を推進するとともに、県民の障がいに対する理解を深めることを目的としています。

大会当日は晴天に恵まれ、各会場で熱戦が繰り広げられました。

また、会場では、家族や友人など多くの方々から、選手の皆さんへ温かい声援が送られていました。

- [期日] 平成29年5月14日(日)
- [場所] 宮崎県総合運動公園他
- [選手] 1,593名 うち精神障がい者325名
  - ・ バレーボール 2チーム 17人
  - ・ ミニバレーボール 13チーム 96人
  - ・ グラウンド・ゴルフ 35チーム 212人
- [結果]
  - ・ バレーボール 優勝 江南よしみフェニックス (宮崎市)  
第2位 江南よしみ (宮崎市)
  - ・ ミニバレーボール 1パート フレッシュハートA (延岡市)  
【優勝】 2パート 井上オールスターズ (宮崎市)  
3パート 野崎病院虹の丘A (宮崎市)  
4パート 若草クリニック (宮崎市)
  - ・ グラウンド・ゴルフ Aコース ゆめたまごA (美郷町)  
【優勝】 Bコース 田中病院憩いの杜A (門川町)  
Cコース 野崎病院虹の丘A (宮崎市)

※ バレーボール大会で優勝した江南よしみフェニックスチームは、第18回全国障害者スポーツ大会(平成30年度:福井県)の九州ブロック地区予選に出場予定。



【バレーボール】



【ミニバレーボール】



【グラウンド・ゴルフ】

## 第16回 宮崎県障がい者スポーツ大会(ミニバレーの部)に参加して

# Happy day

谷口病院オーシャンズ  
(日南市)

◎初めての参加だったので、とても緊張しました。

試合では、笛が鳴る前にサーブを打ってしまったり、サーブが入らなかつたりしましたが、とても楽しかったです。また、試合後のお茶が冷たくて、とても美味しかったです。

来年は優勝したいです。 (^\_^)

◎県大会へ向け、水曜日と金曜日の午後に

谷口病院のデイケアにてミニバレーの練習をしてきました。

私はミニバレーをするのが初めてだったので、みんなのプレーを見ながら、見よう見まねで覚え、県大会に臨みました。県大会では、1試合目はチームプレーで勝ち、2試合目はチームプレーで負けてしまいました。ミニバレーの楽しさと悔しさを感じるとともに、チームプレーがこんなに楽しいものかと感じることができました。そして、試合の帰りに、道の駅フェニックスドライブインで、みんなで反省会をし、集合写真も撮りました。チームでの楽しい思い出が増え、チーム力が増した気がします。来年はリベンジを果たしたいと思います。 (\*^\_^\*)

◎スポーツ大会は、結果的に2位に終わったけど、『来年は、今回負けたところと当たって、もっといい試合ができるようにレベルアップしたい!』という新たな目標ができたので、負けて良かったと思います。負けたけど、面白い試合で楽しかったです。 (^\_^)/~



◎運営のみなさま、ありがとうございました。  
地域活動支援センター和み

# 第16回宮崎県障がい者スポーツ大会(ミニバレーボールの部)に参加して

## 社会福祉法人 風の道 (都城市)

今大会で、2回目の出場となりました。この日のために、毎月練習を行い、昨年よりも良い結果を残すぞー！と、意気込んで取り組みました。練習を重ねる度に、自然と声をかけたり、励ましあったり、手と手を合わせたりしている姿がありました。



運動をすると気分も楽しいし、チームの輪も広がり、良い思い出になりました。参加できて良かったです。

みんなで、2試合できて嬉しかった。

試合は緊張しました。みんな頑張っていてすごいと思いました。おつかれさまでした。

練習の成果が出て勝つことができました。

点数は離れていましたが、声は出ていたし、ボールは上に上がっていたので満足できました。アタックも決まり得点もとれて良かったです。

みんなの試合を見て、応援して、楽しかったです。元気になってバレーをしたいです。

ルールが難しかったけど、楽しかったです。



# 都農町いちょう会デイケア



平成29年5月14日（日）宮崎県障がい者スポーツ大会が開催されました。  
都農町いちょう会デイケアからは、グランドゴルフの部に5名参加しました。  
このスポーツ大会のために、年に数回グランドゴルフの練習をしています。  
体を動かすよい機会になっていて、みんなでホールインワンを目指して頑張っています！

また、他のチームの方と一緒に交流したり、普段関わることのないスタッフの方との会話を楽しんだり、大勢で行うスポーツ大会ならではの楽しい時間を過ごすことができました。来年もぜひ参加したいと思います。



みんな狙いを定めて...  
まっすぐホールに向かって飛んで行け～！



汗をかいた後のお弁当は格別♪  
おいしかった～☆

## ～参加者の感想～

- 今年あまりスコアがよくなかったのですが、来年はがんばるぞ！
- 足が痛くてなかなか動けないけど、この大会だけは出たいので来年もがんばろうと思います。
- 毎年楽しみにしています。とても楽しかったです。
- いつも家の中にいることが多いので気分が晴れました。来年も参加します！

「第16回障がい者スポーツ大会に参加して」  
就労継続支援B型事業所フラワーパークのぞみ工房(日之影町)

本事業所より、アキュラシー(4名)グランドゴルフ(4名)陸上(1名)計9名参加させて頂きました。  
毎回参加されてるメンバーですが、いつもの作業の時と違って少し緊張を感じた1日でした。



大会に参加して思ったこと(参加者の声)  
みんな頑張ってたと思う。  
面白かった。  
もっと練習をしないといけないと思った。  
ドキドキした。  
楽しかったが、人の言う事を聞けなかった。

職員より利用者の皆さんへ

大会前に、練習練習と要求するのではなく、自分で年間を通して健康維持に努めながら参加して頂きたいと思います。



大会に参加した事で、これから役に立てたい事(参加者の声)

最後まで諦めない事。  
仕事で頑張りたい。  
交流をもっと深めたい。  
なんでも、こつこつと取り組まないといけないと思った。

日頃、見られない違った顔を拝見させて頂く、貴重な大会でした。

賞を頂いた方、そうでない方も一生懸命頑張られました。

色々な課題もありますが、来年に期待して、健康で多くの方が参加出来る事を願っています。

同行した職員も楽しませて頂きました。



結果	
アキュラシー(5m)	1位(1名)
〃	3位(1名)
陸上200m(青年)	3位(1名)

# 宮崎地域精神保健福祉協議会

当協議会は、宮崎市及び東諸県郡における精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的に活動しています。

## 【こころの健康づくり講演会】

期 日：平成29年3月7日（火）

場 所：宮崎県総合保健センター 大研修室

参加者：59名

内 容：講演「効果的な退院支援について～病院での  
関わりと地域での関わりから学ぶ～」

講師 株式会社 茉莉花

訪問看護ステーション支援太 管理者 河合 正樹 氏



医療現場で働かれていた経験を活かして、地域の精神障がい者への支援に携わられている訪問看護ステーションの認定看護師の視点から、効果的な退院支援について御講演いただきました。

講演では、退院支援に必要なスクリーニング機能や、日々の患者支援にも重要とされるコミュニケーション技術等について、事例を用いて御紹介いただきました。また、支援者自身のエンパワメントにつながるグループワークも行われ、支援者が患者自身に寄り添うことの大切さを学ぶ機会となりました。

参加者から、「カンファレンスをもっと積極的に導入したい」「退院支援をする際に患者や家族の方々との関わりに活かしたい」「所属で参考にして研修をしたい」など今後の支援や生活に取り入れたいとの意見が多く寄せられました。

## 【宮崎市内精神科病院球技大会】

期 日：平成28年6月14日（火）

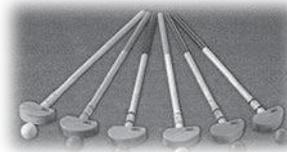
場 所：生目の杜運動公園 はんぴドーム

参加チーム：20チーム（197名）

〔 高宮病院・野崎病院・井上病院  
宮崎若久病院・古賀総合病院 〕

内 容：グランドゴルフ

大会運営に係る費用の助成を行っています。



## 【協議会だより「ゆとり」発行】

精神保健福祉に関する情報提供と、協議会の活動を中心に編集した、宮崎地域精神保健福祉協議会だより『ゆとり第21号』を発行しました。

## 日南串間地域精神保健福祉協議会

当協議会は日南市、串間市における 15 の関係団体と 88 名の賛助会員により構成され、精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的に活動しています。知識の普及・啓発のための講演会や研修会、協議会だよりの発行などの事業を行っています。

### 【日南串間地域 レクリエーションスポーツ交流会】

当事者、家族、病院、地域活動支援センター、障がい者憩いの間運営協議会の方に加え、民生委員や市役所の方々等にもご協力・ご参加いただき、交流会を開催しました。

今年度は、全員で楽しめる交流会となるよう、ミニバレーボールに加え、スカットボールなど 5 種類のレクリエーションゲームを取り入れました。レクリエーション協会の方々にもご協力いただき、笑顔のあふれる交流会となりました。

期 日：平成 28 年 11 月 11 日（金）  
場 所：日南市総合運動公園多目的体育館  
参加者：143 名



#### ◇ミニバレー

- 1 位 谷口病院デイケア B
- 2 位 谷口病院デイケア A
- 3 位 県南病院デイケア&wing A
- 4 位 県南病院デイケア&wing B

#### ◇レクリエーションゲーム

- 1 位 串間チーム
- 2 位 日南チーム



色々なゲームがあって楽しかった♪  
他の参加者との交流も深まりました!!

### 【協議会だよりの「潮騒」の発行】

精神保健福祉に関する情報提供、協議会活動を中心に編集した日南串間地域精神保健福祉協議会だよりの「潮騒」を、年 1 回発行し、会員、関係機関、当事者・家族等へ配布しています。

## 都城北諸地域精神保健福祉協議会

当協議会は都城市、三股町における精神保健福祉の推進を図ることを目的に活動しています。主な活動としては、家族会等への活動助成や精神障がい者支援ネットワークを結成し、講演会や普及啓発イベントの企画、協議会だよりの発行を行っています。

### 【こころの健康づくり講演会】

日 時：平成28年10月8日（土）午後2時から4時まで

場 所：都城保健所 多目的室

参加者：63名（一般、病院関係者、民生委員児童委員等）

内 容：講演「知っていますか？ギャンブル依存症という”病気”」

講師 大悟病院 臨床研究部長 内田恒久 氏

講演「当事者からのメッセージ」

講師 GA都城 フク 氏



内田氏の講演では、ギャンブル依存症についての知識を学ぶことができました。ギャンブル依存症の問題を解決するためには、金銭管理を家族に委ねるということや借金の全貌を明らかにし、本人主体で返済計画を立てること、ギャンブル以外の時間の過ごし方を見つけること、できれば通院か入院をして治療をすることが必要であると教えていただきました。また、家族や周囲の方々の支援の必要性についてもお話いただき、家族や地域が連携して依存症の問題に関わっていくことの重要性を強く感じました。フク氏の講演では、ギャンブル依存症の当事者体験について伺いました。依存症を乗り越えるために、ギャンブルをしない日を一日一日積み重ねておられるとのことで、その姿が大変印象に残りました。

### 【精神障がい者家族交流会】

日 時：平成28年8月24日（水）午前10時から12時まで

場 所：高千穂牧場 まきばのレストラン

参加者：43名（当事者、家族、関係者等）

内 容：交流会では、「社会福祉法人こころ」の久保田 照見氏を講師に「防災」をテーマにした学習会や家族会の皆さんによる出し物、抽選会を行いました。また、参加者全員で昼食会を行い、楽しみながら交流を深めることができました。



### 【協議会だよりの「オアシス」の発行】

平成29年2月に協議会だよりの「オアシス」を発行しました。「突撃！地元の事業所さん」と題して、障害福祉サービス事業所風の道の紹介等を掲載しています。

# 西諸地域精神保健福祉協議会

当協議会は、小林市、えびの市、高原町における精神障がい者の福祉の増進と地域における精神保健の向上を図ることを目的に活動をしています。

## 【西諸地域社会資源見学会】

期 日：平成28年10月28日（金）

内 容：精神科病院看護師等が、地域の社会資源を見学しました。  
退院後の患者さんの日常生活を知る機会になり、「今後の退院支援に活かしたい」「地域支援者の熱い思いを聞けて良かった」等の感想がありました。



## 【西諸地域精神障がい者文化交流会「こすもす祭」】

期 日：平成28年11月30日（水）

場 所：えびの市文化交流センター

参加者数：約290名

内 容：〈ステージの部〉

- 当事者による活動紹介
- 体験発表とミニライブ
- 福祉サービス事業所等の紹介
- 講演「高齢者のうつと認知症について」

講師 特定医療法人浩然会 内村病院 精神科医 阿多京子 先生

〈交流の部〉

- 当事者会コーヒーサービス
- 地域家族会バザー
- 福祉作業所による販売
- 作品展示

今回で16回目の開催となりました。初めてえびの市で開催し、多くの来場者で賑わいました。

ステージでは入院患者さんによる SST 活動の報告や、地域で生活されている精神障がい者ご本人の体験発表、精神科医師による講演等があり、参加した方々より、「皆さんが一生懸命、楽しみながら頑張っている様子が良かった」、「より多くの人に知ってもらいたい」などの感想をいただきました。

エントランスでは、100点を超える作品が展示され、日々の活動の成果を発表する場ともなりました。



## 【協議会だより「ときめき」の発行】

平成29年3月に協議会だより「ときめき」を発行しました。宮崎県精神保健福祉大会の様子や西諸地域精神障がい者文化交流会「こすもす祭」の様子について紹介しています。

## 西都児湯地域精神保健福祉協議会

西都児湯地域精神保健福祉協議会では、西都市、高鍋町、新富町、西米良村、木城町、川南町、都農町における精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的に様々な事業を行っています。

### 【レクリエーション交流会】

期 日：平成 28 年 10 月 28 日

場 所：高鍋町体育館

参加数：107 名

内 容：ラダーゲッター

          カローリング

参加者の名投球にあちこちで歓声の上がる交流会になりました。



### 【ひきこもり支援に関する研修会】

期 日：平成 29 年 1 月 30 日

場 所：高鍋保健所

参加数：30 名

内 容：（1）ひきこもり地域支援センターについて  
          ～ひきこもり支援の現状と課題～

          講師 精神保健福祉センター

          （ひきこもり地域支援センター）石川 幸司 氏

          （2）当事者目線での支援者への支援について

          講師 当事者活動人 聞風坊（もんぷうぼう） 氏

講師からは、関わり方について「本人の気持ちに寄り添いつつ、かつ現実的に、主体性を強める関わり方」をすること。コミュニケーションのポイントとしては「短く、肯定的に、言及している行動を特定する、自分の感情を明確にする」といったアドバイスがありました。

参加者からは「向き合うことは簡単ではないが、相手を大切にすることを第一に関わっていきたい」などの感想が挙げられ、今後の支援のあり方を考える有意義な時間となりました。



### 【出前講座】

① 平成 28 年 11 月 10 日 高鍋町精神保健福祉ボランティア養成講座

          テーマ「当事者からのメッセージ」

          今年度、初めての取り組みとして、当事者 3 名が講師となって体験談を発表してもらいグループワークも行いました。

② 平成 29 年 1 月 4 日 児湯福祉事務所

          テーマ「精神障がい者の理解と対応について」

### 【協議会だより「心と心のたより」の発行】

平成 29 年 3 月に協議会だより「心と心のたより」を発行しました。

精神保健福祉事業功労者表彰の様子や地元の事業所の活動紹介を掲載しています。

# 日向入郷地域精神保健福祉協議会

当協議会は、日向市、門川町、美郷町、諸塚村、椎葉村内の 25 の関係団体と 215 人の賛助会員により構成され、精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的に活動しています。

## 【さわやか交流会】

期 日：平成 28 年 9 月 15 日（木）

場 所：サンドーム日向

競技種目：玉入れ、ホールインワン大会

医療機関や市町村のデイケア、地域活動支援センターなどから、126 名の参加があり、とても盛り上がりました。

玉入れは、10 チームで 2 回の合計タイムを競いました。

ホールインワン大会では、練習なしの 2 本勝負ルールで、見事 11 名の方が、ホールインワンを獲得しました。



## 【こころの健康づくり講演会】

期 日：平成 28 年 12 月 19 日（月）

場 所：クリエイティブセンター門川

演 題：「弁護士と取り組むこころの健康」

講 師：塩地法律事務所 塩地陽介 氏



一般住民、医療・福祉関係者 41 名の参加がありました。多重債務、家庭問題など弁護士として取り組んでいることを分かりやすくお話いただき、「一人一人の力は小さいかもしれないが、連携して一緒に取り組みましょう」と心強い言葉をいただきました。

参加者からは、「役立つ内容だった」「みんなに伝えたい」との感想が聞かれました。

## 【地域家族会合同研修会】

期 日：平成 29 年 2 月 2 日（木）

場 所：日向市障がいセンター あいとぴあ

内 容：講話（講師：立本久子 氏、清岩男 氏）

「みやせいれんの活動について」

ヨーガ・笑いヨガ（講師：依田貴美恵 氏）

研修会は午前中、宮崎県精神保健福祉連合会『通称：みやせいれん』についてお話いただきました。参加者から「相談先を知れた」「つながりができて良かった」との感想がありました。

午後は、笑いヨガを中心に体を動かす経験をしました。初めてでも、自然に笑いがおこり、リラックスする時間を過ごせました。



## 延岡地域精神保健福祉協議会

当協議会は、延岡市における精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的にさまざまな事業を行っています。

### 【延岡ハートフルスポーツ大会】

期 日：平成28年10月18日（火）

場 所：延岡勤労者体育センター、妙田緑地

参加者：130名

内 容：ミニバレーとグラウンドゴルフを楽しみました。

各チームが練習の成果を発揮し、熱戦が繰り広げられました。



### 【こころのコンサート】

期 日：平成28年12月21日（水）

場 所：カルチャープラザのべおかハーモニーホール

参加者：165名

内 容：9団体からのエンタリーがあり、歌やダンス、演劇、演奏などを披露し、会場が盛り上がりました。

### 【ピアスタッフによる地域移行へ向けた研修会】

期 日：平成29年1月8日（日）

参加者：14名

内 容：地域移行におけるピアサポーターの役割

講 師：地域生活支援センターすみよし

精神保健福祉士 山口 麻衣子氏、ピアスタッフ 児玉さん



### 【こころの健康づくり講演会】

期 日：平成29年2月24日（金）

参加者：165名

内 容：「ストレス社会において心地よく眠るためのコツ」

講 師：国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター  
臨床心理士 綾部 直子 先生



### 【こころの広場】

心の健康づくりと精神障がい者支援、精神保健福祉情報の提供を目的として、年1回発行し、会員、関係機関、当事者及び家族、ボランティア等へ配布しました。

## 西臼杵地域精神保健福祉協議会

当協議会は、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町における精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的として、団体会員、個人会員で運営し、啓発活動を中心に事業を進めています。

### 【西臼杵障がい者スポーツ大会】

期 日：平成28年11月4日（金）

場 所：高千穂町武道館

競技種目：

アキュラシー、カローリング、徒競走、  
じゃんけんピック、風船リレー、  
玉入れ、団対抗リレー



作業所や支援学校などから、110名の参加がありました。

競技に参加する方や応援をする方、それぞれとても盛り上がり、終了時には「また来年も参加して、頑張りたい」という声が聞かれました。



### 【家族のつどい】

国見ヶ丘病院及び管内3町と合同で、精神障がい者の家族が抱えている気持ちを表現する場や家族同士の交流を深める場、病気を理解する場を作ることを目的として開催しています。

平成28年度は2回開催し、7名の家族が参加されました。

<テーマ>

1回目 統合失調症とアルコール依存症について理解しよう

2回目 家族自身のセルフケアを学ぼう

### 【協議会だより「精神保健福祉 たかちほ」の発行】

心の健康づくりと精神障がい者支援、精神保健福祉情報の提供、啓発を目的として、年1回広報誌を発行し、管内全世帯及び会員、関係機関等に配布しました。

# 平成29年度 定期総会を終える

特定非営利活動法人 宮崎県精神福祉連合会

理事長 立本 久子

平成29年度 特定非営利活動法人 宮崎県精神福祉連合会の総会を平成29年5月27日（土）市総合福祉センターにて、宮崎県精神保健福祉センター所長 松田裕様、県福祉保健部障がい福祉課長 日高孝治様を迎えることが出来まして、総会を開催することになりました。

また、精神保健担当（高野吉輝様）から「精神医療保健福祉の動向について」のお話を聞くことが出来ましたが、会員の減少、家族の高齢化が気になる中、新しい会員も加わってもらい気分も新たにうれしく思っております。

また、家族の役割であります「わかちあい、学びあい」運動として（社会的活動）家族会の活動の実態を把握し、情報交換や交流連携の機会を増やすなどして行っております。

## ○ 会員の交流を深める活動

### ① 定期総会並びに調理実習交流会

日時 平成28年5月28日（土）午前10時～午後3時30分

### ② おもしろ演芸スポーツレクリエーション大会

日時 平成28年7月30日（土）午前10時～午後3時30分

会場 宮崎市総合体育館 約200名

### ③ 精神障がい者家族間の支援養成研修（日本財団助成事業）

日時 平成28年12月11日（日） 午前10時～午後3時30分

会場 宮崎市総合福祉保健センター 54名参加

### ④ 家族による家族学習会研修会

日時 平成29年3月1日（水）午前10時～午後4時30分

会場 宮崎市総合福祉保健センター研修室 受講者24人

講師 福岡県3人 埼玉県1人

## ○ 差別と偏見の除去に役立つ活動

会報「みやせいれん」装丁をカラー印刷に変更して3回発行

平成28年8月 第6号発行

平成28年11月 第7号発行

平成29年2月 第8号発行

その他活動に励んでおります。

昼食交流会風景



おもしろ演芸レクリエーション大会



担当者研修風景



# アルコール依存症に対する世の中の認識

宮崎県断酒友の会 会長 川越 晋作

私は、断酒会にお世話になり、断酒を始めて今年で丸10年がたちます。

アルコール依存症とは、中々、自分では依存症であると認めにくい病気です。否認の病です。

毎晩酒を飲んで、家族に、会社に迷惑を掛け、飲酒運転で警察に世話になっても、家族も本人も依存症という認識がありません。病気そのものを知らないわけです。体の調子が悪くなって病院に行っても、専門病院に運よく巡り会わない限り、普通の内科医で診察を受けても依存症の診断は下しません。良くて週に2,3日休肝日を設けて節酒してくださいと言われるだけです。

アルコール依存症は病気であり、昔からアル中、精神異常者と思われておりますがそうではありません。

アルコールを飲む量を自分でコントロール出来ない、今日は2合で止めておこう、明日大事な用事があるから今日は飲まないでおこう、それが出来ず、大量に毎晩飲んで家族に会社に地域に迷惑を掛ける病気です。コントロール障害です。

3合以上毎晩飲まれる方、酒で失敗した方、二日酔いが多くて、飲んだ時の記憶のない方、一度アルコール依存症を疑って専門病院に行ってみませんか。

私ども断酒会は県内9支部、毎月夜例会を20回から25回ほど開催し、体験談を語り合い、断酒を通して人生を見つめ直す作業を行っております。

まだまだ、世間一般にアルコール依存症に対する誤解と、偏見が満ち満ちておりますが、アルコール健康障害対策基本法が制定、施行されたことに伴い、行政機関の協力のもとに、相談、広報活動に力を入れていきたいとおもいます。





☆法人名 特定非営利活動法人 工房はづき

☆施設目的

回復途上にある障がいを持つ方に対して、生活の場を提供し、  
働く意欲と生活力を身につけてもらい、  
社会生活に適應できるように職業訓練を行い、  
もって社会復帰に寄与することを目的としています。

☆サービス内容 指定障がい福祉サービス事業所 就労継続支援（B型）

☆利用定員 20名

☆作業概容

宛名シール貼り・郵便番号区分け・封入・封緘・ハガキ封筒宛名印刷(バーコード印刷可)  
ペットケア商品製造販売・箱折り作業等

☆営業日 月曜日から金曜日（場合によっては変更あり）

☆営業時間 8時30分～18時

☆サービス提供時間 9時30分～16時00分（場合によっては17時半まで時間延長あり）

DMチラシ組合せ・封緘作業



箱折り折り・組立作業



ペットケア商品注入・計量作業



☆施設へのお問い合わせは

〒880-0834 宮崎市新別府町麓 518-1 TEL:0985-71-2673 FAX:0985-71-0072

PC メール:koubouhaduki@yahoo.co.jp H P : <http://koubouhaduki.miyachan.cc/>

工房はづきのホームページ



ペットケア商品のご紹介・ご購入はこちらから



『い・ば・しょ』が必要

## 地域活動支援センター I 型 とんでーの

とんでーのは、いつ来ていつ帰ってもいいところです。  
毎日決まったプログラムはありません。  
したいことができるところです。  
何もしないことが過ごし方の一つです。

こんな場所を求めている人たちがいることに気づきました。  
人の集まる場所ですから、コミュニケーションや交流も自然と生まれます。

だんだんと、心を開いて話も深まっていきます。そして、時の流れと共に、その人や周囲の人も少しずつ変わっていきます。



### 【利用者の声】



Aさん

病気が再発し退院したのを機に、ゆっくりする時間をもつためにここにみえました。体調をみながら利用し、読書、書道、手芸など好きなことをして過ごしました。作る楽しさに目覚めて、親と医師を説得し1年間勉強する道を選びました。 てげてげで無理しない約束で。

Bさん

ここに来る前は、あちこちにちょこちょこと行っていました。この存在を知って利用するまでに時間はかかりましたが、現在は毎日来ています。居場所を得て生活が変化しました。

Cさん

高校に進学しなかったことを悔やみつつ、新たな目標を持って生活をしました。不登校からの生活リズムを変えることは難しかったけど、「自分は変わったと思います。」と自分の成長を実感していました。

自分の存在を実感できる場所やほっとできる場所はだれにでも必要だと思います。  
これからも、ゆっくりと歩いていける場所として、「居心地のよさ」と「共に考えあきらめない気持ち」を大切にしていきたいと思っています。

お問い合わせ先 〒886-0004 小林市細野486-27  
TEL 0984-27-4440  
FAX 0984-27-4441  
E-MAIL info@tonde-no.com



# 特定非営利活動法人すまいる

## <すまいる作業所のご紹介>

●就労継続B型(定員24名)

## 事業案内



すまいる作業所は、平成19年4月に延岡市川島町に宮崎県最北端の作業所として誕生しました。すまいる作業所では、異なる障がいをもつ方々が作業を通して生きがいを感じ、仕事へのやりがいを感じ取れるような施設運営を行っております。

## <施設概要>

場所: 宮崎県延岡市川島町2733-1  
 利用日: 月～金曜日(月8日休みのため、土祝日の出勤あり)  
 利用時間: 9:00～16:00(水曜日のみ9:00～13:00)  
 電話番号: 0982-28-6123  
 FAX番号: 0982-28-6120  
 メールアドレス: [kai-yuu@ma.wainet.ne.jp](mailto:kai-yuu@ma.wainet.ne.jp)

## <作業内容>

- リサイクル作業
- 知育玩具作成
- 手芸製品
- EM活性液の販売
- 椎茸栽培・加工・販売卸し
- 請け作業(清掃・草取り・除草)
- 木工作业(子供椅子・馬脚製作)

●自立訓練(生活訓練)事業もあります。  
 (調理訓練・清掃訓練・洗濯訓練・体力訓練など  
 利用者様に応じてご希望の訓練内容を実施しています。)

見学・視察・相談等は随時受けつけております。  
 お気軽にご相談ください。

## 就労継続支援 A 型・B 型多機能事業所 にじいろ

### 西臼杵郡で唯一の A 型・B 型多機能事業所

「にじいろ」は平成 29 年 1 月に西臼杵郡初の A 型・B 型多機能事業所として、高千穂町に開所いたしました。  
「彩り豊かな人生を」を理念に掲げ、「明るい笑顔と優しい言葉」「自覚と責任」「いずれにしても前向きに」を行動指針として、障がいのある方の仕事と生活のバランスの取れた自立を目指して日々支援を行っています。

### 作業内容

仕事の内容は、菓子製造から清掃作業、接客などがあり、本人の希望や能力に合わせて話し合いながら作業を決定して行きます。

A 型	B 型
<p>〈施設外就労〉 企業様から請け負った作業をその企業様にて行います。 (菓子製造業や清掃作業など) 一般企業に出向いて仕事を行い、作業はもちろんのこと、社会性なども身につけることができます。</p> <p>〈店舗接客業務〉 施設に併設しているカフェにて接客・販売を行います。</p> <p>〈勤務時間〉 7 時～18 時の間でシフト制 週に 20 時間以上の勤務になります</p>	<p>〈菓子製造業務〉 材料の計量や仕込み、袋詰めなど</p> <p>〈軽作業〉 箱作りやしおり折り、洗濯など</p> <p>〈勤務時間〉 10 時～15 時 土、日がお休みです。</p> <p>その他、レクレーションやイベント参加等で時間の変更等があります。</p>



菓子製造

(企業に出向き仕事します、製造したものは全国に出荷されます)



お茶摘み風景

(季節によって農産品の加工処理や収穫を行います)

連絡先  
宮崎県西臼杵郡高千穂町三田井 1171-7  
電話 0982-83-0707

# 宮崎県精神保健福祉連絡協議会だより

## 平成28年度事業実績

### 1. 会議開催

(1) 第1回総会(平成28年5月30日)

- ① 役員の改選について
- ② 平成27年度事業実績について
- ③ 平成27年度決算について
- ④ 報告事項
  - ・第15回(平成28年度)宮崎県障がい者スポーツ大会の開催実績について
  - ・精神保健福祉活動支援事業について

(2) 第1回理事会(平成28年8月8日)

- ① 精神保健福祉功労者に対する「平成27年度宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰」の被表彰者の選考について
- ② 平成28年度精神保健福祉活動支援事業の審査について
- ③ 精神保健福祉みやざき(第56号)の発行について
- ④ 報告事項
  - ・第56回精神保健福祉大会の進捗状況について

(3) 第2回理事会(平成28年8月29日付け書面開催)

- ① 熊本地震被災に対する(公社)熊本県精神保健福祉協会への寄附について役員全員の賛成により、寄附金3万円を送金

(4) 第2回総会(平成29年3月13日)

- ① 平成29年度事業計画について
- ② 平成29年度当初予算について
- ③ 平成29年度精神保健福祉活動支援事業について
- ④ 第57回精神保健福祉大会について

### 2. 大会開催

(1) 第15回宮崎県障がい者スポーツ大会

平成28年5月8日(日)宮崎県総合運動公園ほかで開催

参加者2,211名(選手数1,630名、うち精神障がい者358名)

- (2) 第56回精神保健福祉大会  
平成28年10月14日(金)日向市文化交流センターにて開催  
参加者674名

### 3. 精神保健福祉功労者表彰

- (1) 県大会時表彰状及び記念品授与9件(個人8名、団体1)

### 4. 支援・助成

- (1) 精神保健福祉関係団体助成事業(助成額 35万円)
- ① 宮崎県精神福祉連合会 (助成額 30万円)
  - ② 宮崎県断酒友の会 (助成額 5万円)
- (2) 精神保健福祉活動支援事業(助成額 35万円)
- (活動の部)
- ① 宮崎県精神保健福祉士会 (助成額 10万円)
  - ② 江南よしみ地域生活支援センター (助成額 10万円)
  - ③ 新富町精神障がい者福祉会 (助成額 6万円)
  - ④ みやざき高次脳機能障がい家族会あかり (助成額 6万円)
- (広報の部)
- ⑤ 自助グループオアシス(助成額 3万円)

### 5. 普及・啓発

- (1) 機関誌「精神保健福祉みやざき(第56号)」の発行・配布(1,000部)
- (2) 啓発誌「心の健康(No.71)」の作成・配布(8,000部)
- (3) 専用ホームページの運用
- (4) 検索システム「こころ安心・相談ネット(愛称:みやざきこころ青Tねっと)」の運用

### 6. その他

- (1) 九州精神保健福祉協議会理事会(那覇市)平成28年12月2日開催

## 平成29年度事業計画

### 1. 大会開催

- (1) 第16回宮崎県障がい者スポーツ大会  
平成29年5月14日(日)(会場:宮崎県総合運動公園、宮崎エースレーン)  
※ボーリング及びボッチャは、平成29年5月7日(日)実施

- (2) 第57回宮崎県精神保健福祉大会  
平成29年11月10日（金）（日南市）

## 2. 精神保健福祉功労者表彰

第57回宮崎県精神保健福祉大会時に表彰状授与

## 3. 普及・啓発事業

- (1) 機関誌「精神保健福祉みやざき(第57号)」の発行・配布(1,000部)
- (2) 啓発誌「心の健康(No.72)」の作成・配布(8,000部)
- (3) 広報媒体「専用ホームページ」等の運用  
ホームページアドレス(<http://www.miya-seiren.com>)
- (4) 「こころ安心・相談ネット(愛称:みやざきこころ青Tねっと)」の運用  
ホームページアドレス(<http://www.m-aot.net>)
- (5) 「自殺対策強化月間(3月)」関連普及啓発  
パネル展示、チラシなどの配布
- (6) 自殺対策診療・相談・支援機関情報誌「こころのハンドブック」の作成・配布  
(予算の範囲内で、県精神保健福祉センターと連携して作成・配布)

## 4. 各種団体に対する助成

- (1) 宮崎県精神福祉連合会が実施する啓発活動等への助成
- (2) 宮崎県断酒友の会が実施する啓発活動等への助成
- (3) 精神保健福祉関係団体(公募)が実施する啓発活動等への助成

## 5. 総会・理事会の開催

- (1) 第1回総会(平成29年5月29日(月)開催予定)  
平成28年度事業実績・決算承認、役員改選、精神保健福祉大会など
- (2) 第1回理事会(平成29年8月7日(月)開催予定)  
会長表彰者決定、公募事業決定、機関誌発行など
- (3) 第2回総会(平成30年3月12日(月)開催予定)  
平成30年度事業計画・当初予算など

## 6. その他

- (1) 九州精神保健福祉協議会理事会(福岡県) 平成29年11月24日開催予定
- (2) 全国精神保健福祉連絡協議会総会(滋賀県) 平成29年10月19日開催予定

# 宮崎県精神保健福祉連絡協議会 役員名簿

平成29年10月1日現在

役 職	氏 名	機関・団体名等
会 長	高宮 眞樹	宮崎県精神科病院協会会長
副 会 長	石田 康	宮崎大学医学部精神医学教室教授
常務理事	松田 裕	宮崎県精神保健福祉センター所長
理 事	三山 吉夫	宮崎大学名誉教授
理 事	後藤 勇	宮崎地域精神保健福祉協議会代表
理 事	谷口 浩	日南申間地域精神保健福祉協議会代表
理 事	竹内 康三	都城北諸地域精神保健福祉協議会代表
理 事	内村 大介	西諸地域精神保健福祉協議会代表
理 事	中林 永一	西都児湯地域精神保健福祉協議会代表
理 事	鮫島 哲郎	日向入郷地域精神保健福祉協議会代表
理 事	吉田 建世	延岡地域精神保健福祉協議会代表 宮崎県精神科医会会長
理 事	植松 昌俊	西臼杵地域精神保健福祉協議会代表
理 事	中村 究	宮崎県精神科診療所協会副会長
理 事	小田 光男	宮崎県福祉保健課課長
理 事	日高 孝治	宮崎県障がい福祉課課長
理 事	立本 久子	宮崎県精神福祉連合会理事長
理 事	川越 晋作	宮崎県断酒友の会会長
理 事	矢野 光孝	宮崎県障害者社会参加推進センター所長
監 事	黒江 義之	宮崎県社会福祉協議会事務局長
監 事	瀧口 俊一	宮崎県保健所長会会長

●役員数：理事18名（会長1名、副会長1名、常務理事1名を含む）、監事2名

●役員任期：平成29年4月1日～平成31年3月31日（2年間。新任者も同じ任期）

# 宮崎県精神保健福祉連絡協議会 会員名簿

正会員

平成28年8月現在

組織・団体名	郵便番号	所在地住所	電話番号	FAX番号	ホームページ
宮崎地域精神保健福祉協議会	880-0032	宮崎市霧島1-1-2 中央保健所内	0985-28-2111	0985-23-9613	
日南串間地域精神保健福祉協議会	889-2536	日南市吾西1-5-10 日南保健所内	0987-23-3141	0987-23-3014	
都城北諸地域精神保健福祉協議会	885-0012	都城市上川東3-14-3 都城保健所内	0986-23-4504	0986-23-0551	
西諸地域精神保健福祉協議会	886-0003	小林市大字堤3020-13 小林保健所内	0984-23-3118	0984-23-3119	
西都児湯地域精神保健福祉協議会	884-0004	児湯郡高鍋町大字蚊口浦5120-1 高鍋保健所内	0983-22-1330	0983-23-5139	
日向地域精神保健福祉協議会	883-0041	日向市北町2-16 日向保健所内	0982-52-5101	0982-52-5104	
延岡地域精神保健福祉協議会	882-0803	延岡市大貫町1-2840 延岡保健所内	0982-33-5373	0982-33-5375	
西臼杵地域精神保健福祉協議会	882-1101	西臼杵郡高千穂町大字三田井1086-1 高千穂保健所内	0982-72-2168	0982-72-4786	
一般社団法人 宮崎県精神科病院協会	880-0013	宮崎市松橋1-1-32 コーポはまゆう7F	0985-60-2671	0985-60-2672	
一般社団法人 宮崎県精神科診療所協会	880-0001	宮崎市橋通西1-5-3 細見クリニク内	0985-35-1100	0985-38-1711	
宮崎大学医学部臨床神経科学講座精神医学分野	889-1692	宮崎市清武町木原5200	0985-85-2969	0985-85-5475	http://www.med.miyazaki-u.ac.jp
社会福祉法人 宮崎県社会福祉協議会	880-8515	宮崎市原町2-22 県福祉総合センター内	0985-22-3145	0985-27-9003	http://www.mkensha.or.jp
宮崎県精神科医会	889-0511	延岡市松原町4-8850 吉田病院内	0982-37-0126	0982-37-0233	
特定非営利活動法人 宮崎県精神福祉連合会	880-0873	宮崎市堀川町165番地 立本久子様方	0985-29-6816	0985-29-6816	http://www5.ocn.ne.jp/~mkaren
宮崎県酒友の会	880-0913	宮崎市高岡町上倉永2644-3	0985-82-1898	0985-82-1898	
宮崎県障害者社会参加推進センター	880-0007	宮崎市原町2-22 県福祉総合センター内	0985-26-2950	0985-55-0258	
宮崎県保健所長会	885-0012	都城市上川東3-14-3 都城保健所内	0986-23-4504	0986-23-0551	
宮崎県福祉保健課	880-8501	宮崎市橋通東2-10-1	0985-26-7074	0985-26-7326	http://www.pref.miyazaki.lg.jp
宮崎県障がい福祉課	880-8501	宮崎市橋通東2-10-1	0985-32-4471	0985-26-7340	http://www.pref.miyazaki.lg.jp
宮崎県精神保健福祉センター	880-0032	宮崎市霧島1-1-2	0985-27-5663	0985-27-5276	http://www.seiho-center-miyazaki.com
宮崎大学名誉教授	889-1911	北諸県郡三股町大字長田1270 老年期精神疾患センター内	0986-52-5800	0986-52-5573	

賛助会員

病院・診療所名	郵便番号	所在地住所	電話番号	FAX番号	ホームページ
宮崎大学医学部附属病院精神科	889-1692	宮崎市清武町木原5200	0985-85-2969	0985-85-5475	http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/hospital
医療法人清芳会 井上病院	880-0123	宮崎市大字芳士80	0985-39-5396	0985-39-2410	http://www.inoue-hp.net
社会医療法人同心会 古賀総合病院	880-0041	宮崎市池内町敷木1749-1	0985-39-8988	0985-39-0067	http://www.kgh.or.jp
医療法人真愛会 高宮病院	880-0841	宮崎市吉村町大町甲1931	0985-24-5678	0985-22-1571	http://www.takamiya.or.jp
一般財団法人弘潤会 野崎病院	880-0916	宮崎市大字恒久5567	0985-51-3111	0985-51-3114	http://www.koujunki.jp
医療法人慈光会 宮崎若久病院	880-0945	宮崎市福島町寺山3147	0985-51-1548	0985-52-7394	http://www.miyazaki-wakahisa.com
医療法人如月会 若草病院	880-0804	宮崎市宮田町7-37	0985-28-2801	0985-20-0819	http://www.miyazaki-wakakusa.or.jp

賛助会員

病院・診療所名	郵便番号	所在地住所	電話番号	FAX番号	ホームページ
一般社団法人藤元メディカルシステム 大悟病院	889-1911	北諸県郡三股町大字長田1270	0986-52-5800	0986-52-5573	http://www.fujimoto.or.jp
医療法人恵心会 永田病院	885-0084	都城五十町5173	0986-23-2863	0986-23-2238	http://www.nagatahp.or.jp
一般社団法人藤元メディカルシステム 藤元病院	885-0055	都城市早輪町17-4	0986-25-1315	0986-25-2473	http://www.fujimoto.or.jp
医療法人一誠会 都城新生病院	885-0093	都城市志比田町3782	0986-22-0280	0986-25-1958	http://www.shinsei-hp.jp
医療法人隆誠会 延岡保養園	882-0863	延岡市緑ヶ丘5-14-30	0982-33-6396	0982-35-3370	http://www.ryuseikai.com
医療法人建悠会 吉田病院	889-0511	延岡市松原町4-8850	0982-37-0126	0982-37-0233	http://www.yoshidahospital.or.jp
医療法人同仁会 谷口病院	887-0034	日南市大字風田3861	0987-23-1331	0987-23-7739	http://www.taniguchi-hospital.jp
医療法人浩然会 内村病院	886-0002	小林市水流追852番地1	0984-23-2575	0984-22-6442	http://www.uchimura-hospital.jp
医療法人信和会 小林保養院	886-0003	小林市堤2939	0984-22-2836	0984-22-5341	
医療法人和敬会 国見ヶ丘病院	882-1102	西臼杵郡高千穂町大字押方1130	0982-72-3151	0982-72-3153	http://www.kunimigaoka.or.jp
医療法人十善会 県南病院	888-0001	串間市大字西方3728	0987-72-0224	0987-72-5967	http://www.kennan-hospital.or.jp
医療法人向洋会 協和病院	883-0021	日向市大字財光寺1194-3	0982-54-2806	0982-54-3319	http://www.kyowahospital.jp
医療法人望洋会 鮫島病院	883-0033	日向市大字塩見14168	0982-54-6801	0982-53-7313	http://www.sameshima-hp.jp
医療法人社団慶城会 瀧井病院	883-0033	日向市大字塩見11652	0982-52-2409	0982-52-2403	http://keijoukai.pr.miten.jp/modules/myalbum1
特定医療法人浩洋会 田中病院	889-0623	東臼杵郡門川町宮ヶ原4-80	0982-63-2211	0982-63-2211	http://www.h7.dion.ne.jp/~tanaka_h
医療法人恵喜会 西都病院	881-0023	西都市大字調殿1010	0983-43-0143	0983-43-3625	
医療法人りっか会 ピア・メンタルささき病院	880-0211	宮崎市佐土原町下田島21230	0985-73-1811	0985-72-0640	http://www.peer-ricka.jp
医療法人あいクリニック	880-0879	宮崎市宮崎駅東1-6-7	0985-25-0085	0985-25-5882	http://www.ai-clinic.pro
医療法人社団静心会 近間クリニック	880-0031	宮崎市船塚1-2	0985-24-6662	0985-24-7008	
医療法人社団凌雲会 福永内科神経科医院	889-1607	宮崎郡清武町大字加納1-29-2	0985-85-6006	0985-55-0886	
医療法人芳明会 早稲田クリニック	880-0933	宮崎市大坪町西六月2197-1	0985-53-3030	0985-54-5151	http://www.houmei.or.jp
野田クリニック	882-0052	延岡市萩町52	0982-35-7789	0982-34-0085	
こうメンタルクリニック	880-0905	宮崎市中西3-2-33	0985-55-1777	0985-55-1789	http://www.miyazaki-catv.ne.jp/~kogomentalclinic
北野メンタルクリニック	880-0824	宮崎市大島町南窪814-4711コ-ビル105	0985-22-7588	0985-22-7587	
福)宮崎県社会福祉事業団 向陽の里診療所	880-1101	東諸県郡国富町大字本庄1407	0985-75-7752	0985-75-2979	
医療法人ハートピア 細見クリニック	880-0001	宮崎市橋通西1-5-3	0985-35-1100	0985-38-1711	http://www.hosomici.sakura.ne.jp
医療法人サザンクリニック	880-0912	宮崎市大字赤江830-1	0985-50-5771	0985-50-5663	
みずのメンタルクリニック	883-0041	日向市北町1-2	0982-50-0855	0982-57-3627	
医療法人聖心会 中村クリニック	880-0806	宮崎市広島1丁目17-21 ポレストアーバンシティ広島1F	0985-32-7830	0985-32-7831	http://www.nakamura-cl.com
あけぼの診療所	889-1703	宮崎市田野町あけぼの2丁目5番地1	0985-74-5600	0985-74-5601	http://www.akebono-hp.com/
医社)博心会 大山脳神経外科クリニック	889-1411	児湯郡新富町雷田1丁目3番地2	0983-26-8111	0983-33-6365	
康雅メンタルクリニック	880-0001	宮崎市橋通西3丁目10-19	0985-27-2500	0985-27-8700	http://www.yasumasentalclinic.jp/
医療法人弘文会 松岡内科医院	883-0014	日向市原町1丁目2番2号	0982-52-5407	0982-52-9891	
大貫内科	882-0803	延岡市大貫町5丁目1646番地1	0982-28-2200	0982-32-1500	
医療法人こぶしくりニック	880-0941	宮崎市北川内町乱橋3628-3	0985-64-1010	0985-64-1012	
医療法人おがわクリニック	884-0004	児湯郡高鍋町大字蚊口浦6199番地61	0983-32-5726	—	http://www7.biglobe.ne.jp/~ogawa-clinic/

## 精神保健福祉みやざき(第57号)

平成29年10月発行

編集発行 宮崎県精神保健福祉連絡協議会  
〒880-0032 宮崎市霧島1-1-2  
TEL 0985-27-5663  
FAX 0985-27-5276

印刷製本 有限会社 K・I印刷  
〒880-0056 宮崎市神宮東3-6-19  
TEL 0985-65-4024

### 編集委員会 委員名簿

中央保健所健康づくり課	技 師	中 川 優 馬
日南保健所健康づくり課	主任技師	矢 野 桃 子
都城保健所健康づくり課	技 師	水 元 え り
小林保健所健康づくり課	技 師	川 平 陽 子
高鍋保健所健康づくり課	主任保健師	田 村 ひろみ
日向保健所健康づくり課	主任技師	田 邊 真 理
延岡保健所健康づくり課	技 師	桑 原 可 菜
高千穂保健所健康づくり課	主任技師	寺 町 真由美
精神保健福祉センター	副 所 長	甲 斐 靖 典
	主幹兼主任	家 弓 文 孝
	専門主事	蓑 毛 年 一

# 精神保健福祉

# みやがき



この広報紙は赤い羽根募金の配分を受けて発行しています。

## 宮崎県精神保健福祉連絡協議会

再生紙を使用しています